

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	食物蛋白誘発胃腸症の早産児症例の検討
当院の研究責任者	新井順一
他研究機関および各施設の研究責任者	筑波大学附属病院 小児科 永藤元道
本研究の目的	<p>生後早期のお子さんが人工乳や母乳を摂取した後、嘔吐や下痢、血便などを呈する食物蛋白誘発胃腸症という疾患があります。食物アレルギーの一つとされ、誘因となった人工乳や母乳を中止し、アレルギー用ミルクや成分栄養剤を使用することで改善する疾患です。原因は、人工乳や母乳中の抗原（体の中で免疫反応を引き起こす物質）によって腸の中で免疫反応が生じ、炎症を引き起こすとされていますが、詳しくはまだわかっておりません。近年、生後早期のお子さんで発症する食物蛋白誘発胃腸症が増えておりますが、早産のお子さんでは明らかではありません。早産のお子さんは免疫力が低い一方、免疫を抑える力が強く備わっているとされた報告もあり、食物蛋白誘発胃腸症の発症にも特徴があると予想されます。</p> <p>そこで今回我々は本研究において、入院中に食物蛋白誘発胃腸症を発症した早産のお子さんを対象に、背景や発症症状や時期、治療内容やその後の経過といった臨床情報を収集、解析し、早産児における食物蛋白誘発胃腸症の臨床的特徴を明らかにし、病態解明に繋げることを目的とします。</p>
該当期間・対象者	2008年1月から2020年12月までに茨城県立こども病院 NICU、GCU に入院した在胎 36 週以下の早産児で、入院中に食物蛋白誘発胃腸症と診断された患者さん。また対照として、同時期に NICU、GCU に入院・同疾患と診断された在胎 37 週以上の正期産の患者さん。
研究の方法	診療記録を用いて、過去の情報を収集、整理し、データ解析を行います。
他機関への情報提供	筑波大学附属病院へ情報提供予定
個人情報の取り扱い	患者さんの情報は個人を特定できないよう匿名化します。
利益相反	ありません。
問い合わせ先	<p>茨城県立こども病院：〒311-4145 茨城県水戸市双葉台 3-3-1 担当者名：新生児科 新井 順一、電話番号：029-254-1151（代表） 筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 担当者名：小児科 永藤 元道、電話番号：029-853-3785（成育支援室）</p>
備考	